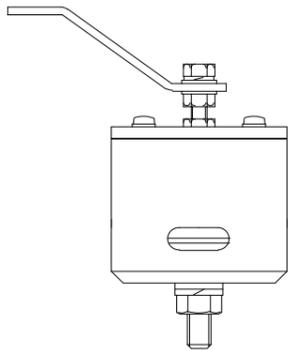


# ミニバイブレータ HV-0型シリーズ

## 取扱説明書

[ HV-00/HV-01/HV-02/HV-03 ]

この度は、ミニバイブレータHV-0型をお買い上げ頂き、有難うございます。正しくご使用頂くために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。なお、お読みになられたあと、いつでも見られる所に大切に保管してください。



## 1. 安全上のご注意

- ◇ 不測の事故を回避するために！  
設置・運転・保守などの作業をする時はこの「取扱説明書」を繰り返し熟読してから、作業を行ってください。
- ◇ パーツフィータとその周辺機器は、高度の技術を利用して作製されています。保守・調整は、責任者を選任し、作業は取扱責任者の監督のもとに行ってください。
- ◇ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫程度を明示するため、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

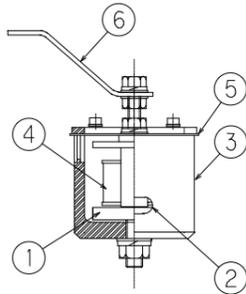
<b>⚠ 警告</b>	誤った取扱いをした時に死亡または重傷を負う可能性があるもの
<b>⚠ 注意</b>	誤った取扱いをした時に使用者が傷害を負う、または、物的損害の可能性のあるもの

<b>⚠ 警告</b>	
● 感電事故を避けるために下記の項目をお守りください。	
1. 水や油が入ったり、濡らしたりしないように注意してください。	
2. 高温多湿(噴霧状態含む)の環境で使用しないでください。	
3. 配線作業時は、必ず電源を切ってから実施してください。	
4. アース線は必ず接続してください。	
● 爆発性の雰囲気(揮発性有機溶剤等)を使用している場所)で使用すると、火災や爆発事故を引き起こす恐れがあります。 (なお、本製品は防爆仕様ではありません)	

<b>⚠ 注意</b>	
・ 過電圧は、「パーツフィータ関連機器」の「電磁石」焼損事故になります。ケース側面シール記載の電圧領域でご使用ください。	
・ 「エアギャップ」(可動コアと電磁石のスキマ)は調整済みですので、「エアギャップ」の調整は、絶対にしないで下さい。コイル発熱等の故障の原因になります。	
・ 調整並びに保守点検をする時は、電源を切ってください。電源ONのままボルト・ナットを緩めると指詰め事故の原因となります。	
・ 振動機器を持ち運ぶ時は、外部から強い衝撃を与えたり、反対向きにぶら下げたりすると変形や変調を生じることがあります。	
・ 「電磁石」電源引出し線の色で、適した電圧が判る様に色分けしています。 AC100Vの場合・ネズミ色(グレー) AC200Vの場合・青色(ブルー)	
・ 当社の許可無く、加工・改造・分解等が行われた製品については、保証しかねますのでご了承下さい。また、上記に起因する物的・人的損害について当社は責任を負いません。	
・ 製品の耐用寿命・保証(期間)については、実働諸条件によって、異なるため当方として算定しかねますので、ご了承下さい。	

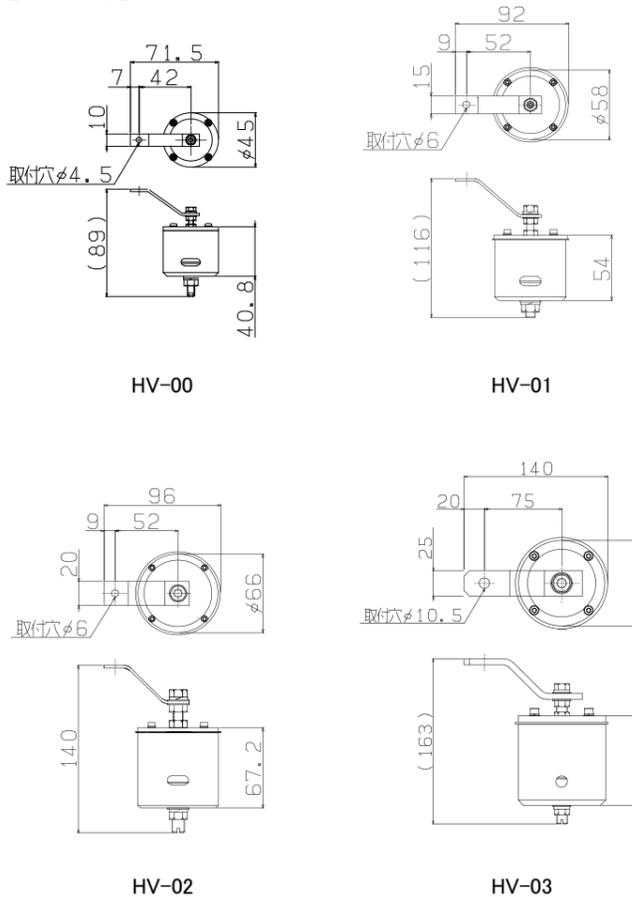
## 2. 各部名称・寸法

### 【2-1. 各部名称】



①	可動コア
②	エアギャップ確認用穴
③	ケース
④	電磁石
⑤	板ばね
⑥	アーム

### 【2-2. 寸法】



### 【2-3. エアギャップ寸法】

HV-0型シリーズの単体振動は一定となります。振動は、エアギャップを一定にすることで安定します。

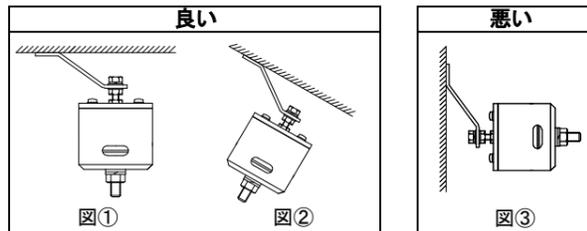
型式	エアギャップ寸法
HV-00	0.6
HV-01	0.7
HV-02	1.2
HV-03	0.6

## 3. 取付け

### 【3-1. 取付け方法】

- 取付ける際は、被振動体に対してなるべく本体を垂直にする様にして下さい。取付け方法の例は【3-2取付け例】の通りです。  
※ 図②については、斜面とアームの取り付け方向を逆にせず、図の通り取付けてください。
- ボルト・ナット類は緩みがないように取り付けてください。
- 配線は、下記の2通りの方法にて接続して下さい。  
① コントローラを介さず入力側電源線に接続して下さい。  
② 本機を弊社コントローラ(PC-MHN)に接続してご使用下さい。  
※ ②の場合、配線方法は、コントローラ(PC-MHN)取扱説明書をご参照下さい。

### 【3-2. 取付け例】



<b>注意</b>	
・ 取付ける前に板ばねに割れが無いことを目視確認して、異常があれば返却、交換してください。	
・ アームのナットが緩むと、本体が回転し、配線が無理に引っ張られ、電磁石の取り出し線の断線や、レアーショートの発生原因となります。	
・ 下記の場合、変則・異常振幅となり、板ばね破損の原因となります。	
1. 電磁石と板ばねを取り付けるボルト・ナットの緩み、及び、アームを取付けるボルト・ナットの緩みがある場合。	
2. 図③のように横方向に取付けた場合。	
・ 配線作業時は、電圧をよく確認してから接続してください。電圧を間違えると電磁石の破損の原因となります。	

## 4. 調整

### 【4-1. ボリューム調整】

HV-0型シリーズの振動を変化させたい場合、弊社コントローラ PC-MHN型を接続のうえご使用下さい。ただし、振動を強くさせる場合は、型式変更にて御対応下さい。

## 5. 仕様

### 【5-1. 仕様】

型式	重量 (Kg)	電源周波数 (Hz)	電源電圧 (V)	電流 (A)
HV-00	0.33	50/60	100	0.2
			200	0.1
HV-01	0.7	50/60	100	0.4
			200	0.2
HV-02	1.5	50/60	100	0.8
			200	0.4
HV-03	2.8	50/60	100	1.6
			200	0.8

## 6. 修理を依頼される前に

### 【不具合点検表】

現象	チェックポイント	原因と対策
電源スイッチをONにしても振動しない	電源	電源が入っていない ⇒ 適正な電源に接続 断線または配線ミス ⇒ 配線をやり直す
	エアギャップ	エアギャップが無く密着している ⇒ 弊社にご連絡下さい
	板ばね	板ばねの破損 ⇒ 板ばねを交換
振動するが揺れが極端に変化する	取付方向	取付方向が不適正 ⇒ 適正な取付方向に修正
	電源	入力電圧に変動がある ⇒ 変動が無いように修正
振動が弱い	電源	電圧が100Vと200Vで間違えている ⇒ 適正な電源に接続 入力電源の周波数が違う ⇒ 適正な電源に接続
	エアギャップ	エアギャップ寸法が不適正 ⇒ 弊社にご連絡下さい
	機種	能力が足りず機種が合っていない ⇒ 機種を1つ上げたものに変更
異常音が発生している	ボルト・ナット	ボルト・ナットが緩んでいる ⇒ 締め直す
	本体と電磁石	本体や電磁石などがお互いに干渉 ⇒ 干渉している箇所を修正
	取付側部品	取付側部品の強度に問題 ⇒ 変動が無いように修正
異臭が発生している	電磁石	切削油や水が付着する環境 ⇒ 防水対策を行う
	エアギャップ	エアギャップ基本寸法より大きい場合、電磁石が過電流により発熱 ⇒ 弊社にご連絡下さい

### 注意

- ・ 上記内容を確認・実施しても改善されない場合、または、記載事項以外の現象状態で、処置が判断できない時は、弊社までご連絡ください。

## 7. アフターサービスについて

- 修理を依頼される時は下記の連絡先までお問い合わせください。

### 村田精工株式会社

本社・工場	大阪府東大阪市藤戸新田1丁目4-15	〒577-0017	TEL (06) - 6787 - 2188	FAX (06) - 6787 - 0797
関東事業所	群馬県邑楽郡板倉町岩田1373-3	〒374-0133	TEL (0276) - 82 - 3991	FAX (0276) - 82 - 3981
中部事業所	愛知県一宮市三ツ井7丁目13-2	〒491-0827	TEL (0586) - 76 - 7558	FAX (0586) - 76 - 7595
広島事業所	広島県福山市芦田町柞磨1645	〒720-1263	TEL (084) - 958 - 3600	FAX (084) - 958 - 3569
北陸事業所	石川県金沢市藤江南1丁目35-1	〒920-0346	TEL (076) - 265 - 7145	FAX (076) - 265 - 7137